

◇自由投稿コーナー◇

# みんなの広場

## 守りたい自然と緑化、 伝承したい日本の伝統文化鉢物

八潮市鉢の会 会長 島根 秀行

八潮市鉢の会は緑化の推進及び鉢物の技術向上と交流、振興を目的に昭和47年に鉢物愛好家130人の会員で発足しました。毎年、季節ごとに丹精こめた鉢物を出品し、展示会を開催します。今年第39回目となり、春はさつきの競技花として1年物、3年物、数十年もたっている大品等、秋には菊で競技花、盆養切花等、冬には松、櫻等様々な盆栽がそろいます。展示会では、

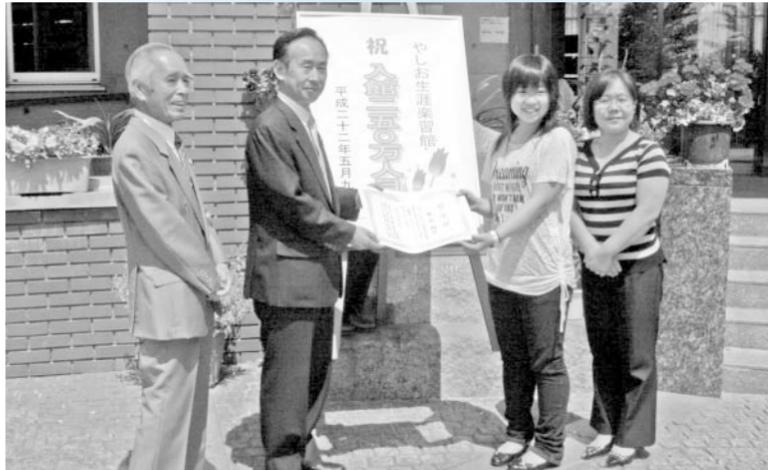
また、技術向上や会員同士の親睦を図るために、視察研修や懇親会なども行っています。人生経験豊富な芸達者の会員も多く楽しい会ですので、興味のある方の入会をぜひお待ちしております。

埼玉県知事、県議会議員、市長、さいかつ農協、市議会議長、金融団等の各賞を春日部農林振興センター、越谷市鉢の会の審査員のもと競い合い、受賞の喜びも味わいます。全国的な展示会にも出品するほどの鉢もあるなか、好きとはいえ多くの時間と労力が必要で、高齢化も進み会員の減少と作品の維持管理、

事業の展開等にと苦戦しております。今後は、第50回の展示会開催を目指してどの部門にも卓越した技を若い人達にもぜひ伝承していきたいと思っております。



## やしお生涯学習館入館者250万人を達成



平成7年7月の開館以来、市の生涯学習活動の拠点施設である「やしお生涯学習館」の入館者が、5月9日に250万人となり、市長から認定書が手渡され、(財)やしお生涯学習まちづくり財団から記念品がプレゼントされました。

記念すべき入館者となった呉怡璇(ウ・イシュウェン)さんは、中央在住の小林さん宅に、交換留学生として台湾から来日している女子高生で、ペンメイキング講座(手作りペンの作成)に参加するために小林さんと来館したものです。

250万人目の来館者となったことに呉さんは「8月には台湾に帰国するので良い思い出になりました」と喜びを語っていました。

## 昔ながらの味を楽しみました



5月29日、資料館で「すいとんづくり」の体験講座が行われました。小学生から成人までの幅広い年代の参加者11人の方が、昔から庶民に親しまれてきたすいとんを、古民家に用意された七輪を使い作りました。

すいとんづくりは、粉に水を加えて練り、汁の中に摘み入れ、野菜などを加えるシンプルな手順なので、小学生の参加者も調理を楽しんでいました。そして試食では、昔の味をなつかしむ人、初めての食感を楽しむ人など、参加者それぞれが自分の作ったすいとんに舌鼓を打っていました。

## 笑顔がいっぱい!スポーツの祭典



5月15日、エイトアリーナで、「健康・スポーツ宣言都市第38回八潮市高齢者と障がい者のスポーツの祭典」が開催されました。

この祭典は、社会福祉協力校の小学生、ボランティア推進校の中学生や各種団体など多くの方々の協力により運営され、「パン食い競走」「玉入れ」など各種目とも安全で円滑に行うために着順を付けずに行われました。

和やかな雰囲気競技が進められ、来場した約1200人の方々のたくさんの笑顔が見られました。

## 3人目の気管挿管認定救命士誕生



「気管挿管」とは、病気やケガで自力呼吸ができなくなった人に対し、口から気管にチューブを挿入して、肺に直接空気を送って呼吸を助ける医療行為のことです。資格を得るためには、国家試験に合格し、特別な教育と実習訓練を積み重ね、そして医師の指導のもと30症例の病院実習が必要となります。

この度、八潮中央総合病院のご協力により、市に3人目の気管挿管認定救命士が誕生しました。

写真左から、中山救命士、真田病院長、岩田先生

# いきいきやしお写真館

この広報紙は、再生紙と大豆油インクを使用しています。

◆広報やしおは、毎月1回、10日(新聞休刊日を除く)に新聞折り込みで配布しています。届いてない世帯の方は、最寄りの公共施設、金融機関、市内10カ所のコンビニエンスストア、八潮駅などでお受け取りになれます。なお、次回の新聞折り込みは、7月10日(土)です。